

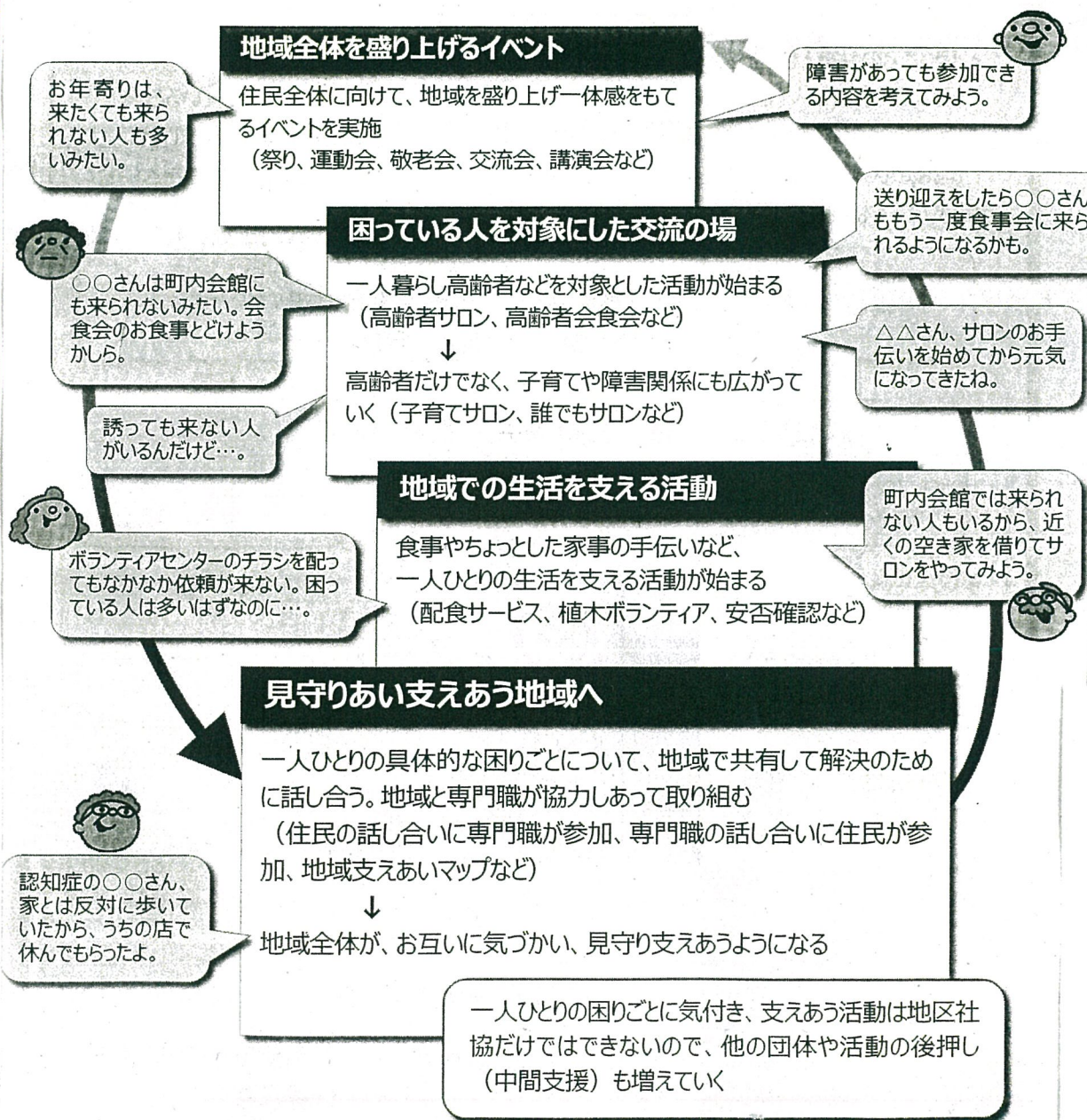
潮田西部地区社協通信

潮田西部地区社会福祉協議会
発行責任者 細野一明
編集責任者 大塚重一

『困りごと』とともに変化してきた地区社協の活動

地区社協活動は、長らく祭りや運動会などな地域を盛り上げるイベントが盛んでした。やがて、一人暮らし高齢者の交流会等、より福祉的な活動が行われるようになります。すると、そこに参加する方が抱えている悩みを知ったり、交流会に来れない人がいることに気付いたりするなど、一人ひとりの生活の困りごとに応える活動が行われるように、さらには住民全体でお互いに見守り支えあう地域へと発展していきます。一人ひとりがつながり、支え、支えられ、役割を持つことは、困りごとが深刻になる前に予防することにもつながります。この道筋やスピードは地域によっても様々です。

一人ひとりの困りごとを支える活動はもちろんのこと、孤立しがちな現代では、多くの人が参加してつながりづくりができるように工夫した祭りなども改めて重要となっており、地区社協の活動は多様であることが期待されます。



区・地区社協活動にご賛同された皆さまから、資金面でご協力いただく仕組みです。賛助会員の皆さまからいただいた会費は、すべて鶴見区内の福祉活動に有効に使われています。

賛助会員制度とは

賛助会員募集のご案内





高齢者と園児の「ふれあい」の集い

去る、令和2年1月17日（金）10時より、国際学生会館で恒例の「みつる保育園」（園長 松浦多恵子）のご協力をいただき、園児と高齢者のふれあいとお遊戯会を開催しました。

「ふれあい」の中では園児手作りのプレゼントが有り、楽しいひと時をすごしました。

高齢者の方々の笑顔があふれ子供たちの満足な様子が印象に残りました。

【写真 上・左】



潮田西部地区「昼食会」を開催

「高齢者と園児のふれあい」の後、潮田西部地区社協の昼食会が行われました。

潮田西部地区社協では各自治会毎に年間3回を目標に地域住所、高齢者の方々、「一人暮らし」の方には、「見守り」も兼ねて配食、昼食会をしています。

今回は他町会の高齢者の方々と交流しながら楽しい時間でした。 【写真 右】



消費生活推進員から高齢者の方々へ

旨い話には裏がある。

昼食会の後、消費生活推進員から悪徳商法、サギなどについての紙芝居がありました。

「高額で買い取るから携帯電話を契約してきて」「通帳・キャッシュカードを売ってください」などの誘いには、のらないでください。

犯罪に加担したり、巻き込まれないように注意しましょう。 【写真 左】

